

## WZeta アドレス拡張(案)

アドレス拡張のための OP 1 命令に新規命令を追加。

n : 8bit の数字(相対分岐では符号付)、m : 7bit の数字、k : 4bit の数字、xx:命令コードのオペランド 8bit

ニモニック	動作内容	OP		F
SETPC	PC={A:B: 1'b0} (11h → 24h)	01	00 0001	
SETMC	PC={A:B: 1'b0} (12h → 28h)			
SETPC2	PC={[10]:A:B: 1'b0} (10h)			
SETPC3	PC=[C:[11]:A:B:1'b}(11h)			
GETPC2	[12]:A:B = PC/2 (12h)			
GETPC3	C:[13]:A:B = PC/2(13h)			
PREFIX k	続く命令がアドレスを [1k]:A:B に変更 (1kh) k= 4~14			
PREFIX C	続く命令がアドレスを C:[1F]:A:B に変更 (1Fh)			

PREFIX 命令中は割込みを受け付けない。PF bit を追加、PREFIX 命令の実行で 1 になる。

そして PREFIX 命令の次の命令で 0 になる。

PREFIX k 命令の後に続く命令のオペランドは必ず 0x1k

PREFIX C 命令の後に続く命令のオペランドは必ず 0x1F

PC は 17bit から 33bit に JRA は 16bit から 32bit に拡張。拡張されたメモリ空間のプログラムデータを取得するときによくの場合、ウェイトが必要になる。